その他のお仕事

Ver.1 2001.09.10 by T. T. ISHII

File : /home/flare/com/yohkoh/ssoc_jman/ssoc.tex

Ver.1

もとネタは日本語の方便マニュアルです。OPとコマンドシート、軌道要素、DSN、34mアンテナ以外の細かいことをまとめました。

＜このマニュアルの中身＞
1．STT Timer Set
2．大型計算機のファイルの削除と圧縮
3．週間予定表
4．E-mailとFAXの整理
6．当番レポートの作成
7．OGの変更

1 STT Timer Set

通常毎週火曜日にSTT Timer Setを行なう。Timer Setのコマンド用の表とグラフは、世古さんに出力してもらっている。
Timer Setをするパス(たいてい火曜2パス)を決めたら、コマンドを打つ時刻をUTで世古さんに知らせて出力してもらう。コマンド等は、前の週のを参考にしてつくる。

カノープスが全く見えない地食の時期は、タイマーを止めるので、STT Timerのマニュアルを読んで、コマンドをつくる。だいたい、季節に1回なので、前の地食の時期のコマンドシートをさがしてやってもいい。

また、STT Timerをセットした翌日に、ちゃんと動いているかをIDLとreformat dataを使って確認する。

```
IDL> stt_plot,’dd-mmm-yy’     STT Timer Setした日を入れる。
                              （例） 04-Sep-01（2001.09.04 Tue）
リストが出てくるので、Timer Setの次のパスをクリックして選ぶ。
グラフが表示される。
          yの値が400から900の間にplot(直線状とばらばらっとした点)があればOK。
IDL> exit
```

2 大型計算機のファイルの削除と圧縮

毎週火曜日に大型計算機のファイルの削除及び圧縮を行なう。やり方は以下のとおり。

```
logon tss s88239
        password -> solar##            ##は月
READY
pfd 3.1
        プロジェクト名       sr0001     <--書き込む
        ライブラリ名         opseq      <--書き込む
        タイプ名             infile     <--書き込む
        メンバ名             （空欄）
```

Enter を押す。
画面がかわって、リストが表示される。

削除したいファイル名の 2 マス前で「d」を押す。
　　　上げてしまった OP は消しても良いので、古い日付のもので
　　　消せるもの全てに「d」をマークする。

（例）

```
      NAME      RENAME    VER.MOD    CREATED    LAST MODIFIED   ···
  d OP407261
    OP407271
**END**
```

「d」をつけ終ったら、Enter を押す。
削除されるので、PF3 を押す。

次に、PF12 を押すとコマンド行に飛ぶので、
c を入力する（c と Enter を押す）とファイルが圧縮される。

圧縮が終ったら、PF3 でどんどん抜ける。

3　来週の KSC 予定表の作成

木曜 13:30 に A 棟 6 階 1611 の前の部屋に行って、他の衛星の人たちと打ち合せして来週の KSC のパスを 34m 込みで決定する。

打ち合せの前に、日曜にどのパスで 34m アンテナの運用を行なうかを決めておく。基本的には、Max. elevation が 20 度から 70 度の間のパスを二つ選ぶ (多分、1 パスと 4 パスか、2 パスと 5 パスがいいと思う)。

Max. elevation が 75 度を越えるパスを選んではいけないので、大型計算機を使って、週間予定表みたいなものを作成して elevation をチェックして、パスの時刻をメモしておく。

```
READY
traj
12        Visible diagram を選ぶ。
画面かわって、
  TIME の 1 day をクリックする
  Top date をクリックして、日曜の日付 (yymmdd) を入れて Enter を押す。
  YOHKOH をクリックして、
  最後に EXECUTE をクリックする。
画面かわって、予定表が一日分表示される。
          一番下の段が elevation。20 度から 70 度までの 2 パスを選ぶ。
                  運用を行なうパスの時刻をメモする。
          上から二番目が分を表示している。
End をクリックして終了。
0   Terminate でおしまい。
```

KSC から火曜に送られてきていた予定表に、決定を記入して以下のところへ FAX 及び配達する。

<FAX>
KSC (SA テレメータ)
D 棟 (SXT_CO、短縮あり)
<コピーの配達>
周東さん 2 部 (B 棟 3 階 2301)

決まった後に変更が必要になった場合は、HALCA の村田さん (E-mail: murata@vsop.isas.ac.jp) に E-mail で連絡する。また、変更があった場合は、上の FAX 先や配達先と世古さんに変更を連絡する。

4　E-mailとFAXの整理

yohkoh@flare1に届いた電子メールはmailコマンドを使って、以下の要領で整理する。重要なものはプリントアウトして運用会議で報告する。

·KSCからの運用記録 --> ~/ops_rep/2001/01_w##
·DSNやSXT_COからのメールなどその他 --> ~/mail_01/mail_01_w##

また、FAXは以下の要領で整理する。

·KSC運用記録 --> KSC Ops REPORTのファイル
·太陽地球環境予報（平磯） --> Hiraiso Forecast ...のファイル
·KSCその他との重要なやりとり --> KSC-SSOC-Others FAXファイル
·DSN関連 --> DSN Logに記録してからファイル

5　当番レポートの作成

月曜の運用会議用に当番レポートをflare1で作成する。当番レポートの内容については過去のものを参照すること。

·レポートは、/home/flare1/yohkoh/ssoc_report/2001/w##_01として保存。
·レポート中の、DSNからのデータ取得状況については、
世古さんのレポート/home/flare1/yohkoh/dsn_corrupt/01_##をはりつける。
·週間GOES plotの出力は次のようにする。

```
        IDL> goes_summary       <--画面に表示
        IDL> goes_summary,/hc   <--プリントアウト
```

·運用会議後に、出席者を追加して、E-mailで送信。

```
        flare1% mail -s "Week ##_01 SSOC Tohban Report" ops < w##_01
```

6　OGの変更

SXTの視野中心のずれを補正するS/C offset-pointingの際には、OGの変更を行なうことになる。他のことでも変更するときがある。間違えると大変なので責任ある人にやってもらう必要があるので、OGを変更することがあったら、まず世古さんに連絡すること。